

鹿教湯三才山リハビリテーションセンター

ほっとすまいる ニュース

HOT SMILE NEWS

2024

冬

第144号



【初日の出(陣場合地)】 撮影:宮下 祐典

目次

新棟(本館)部門紹介	2-3
リハビリテーション施設の紹介	4-5
おすすめレシピ「七草がゆ」	6

トピックス・レポート	7
------------------	---

鹿教湯病院理念

私たちは、地域の皆さんが自分らしく生き生きと輝いて暮らせるように、リハビリテーションを通じて納得できる保健・医療・福祉活動を実践します。



未来につなげる
生命の輝き

長野県厚生農業協同組合連合会
鹿教湯三才山リハビリテーションセンター

医事課・受付

医事課は患者さんが病院に来院され、受付にて始めてお話をする部署になります。

医事課の業務は、前述の受付に始まり、会計業務や診療報酬の請求事務、医師の事務作業補助など多岐にわたり、不安や心配な気持ちの患者さんに対し、目配りや気配り、また、心配りの精神で日常業務を行っています。

患者さんへの対応や医療費の計算に留まらず、常に自己のスキルアップや知識向上に努め、病院における医療スタッフの一員として、患者さんが安心して受診いただけるよう心掛けています。

新病院となり、外来受付にも医事課スタッフが常駐することになりましたが、今後も、患者さん一人ひとりに寄り添い、また、丁寧な対応を行うため、多部門とのコミュニケーションを大切に取り組んでまいります。

医事課長代理
小林 亮



新棟（本館）部門紹介

外来

当外来は、2023年10月に鹿教湯病院と三才山病院が統合し、新棟での新体制となりました。大きく変わったのは、受付番号による呼び出しシステムの導入です。個人情報

報保護に配慮しお名前での呼び出しを原則中止させて頂き、受付番号を音声とテレビモニター表示でお知らせすることとなりました。

引き続き、かかりつけ患者さんや地域の方々が安心して受診できるように、明るく・笑顔で、可能な限り迅速に対応できるように努力して参ります。

第Ⅱ期工事中であり、駐車場不足や放射線科への移動に際する仮設廊下の利用、工事による騒音などまだまだご不便をおかけしますが、よろしくお願い致します。

外来看護師長
清水 ゆき子



歯科外来

昨年10月に新病棟が竣工となり、それに伴い歯科も新しい本館へと引っ越しを完了しました。現在、歯科では歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士・事務員が従事しており、入院中の患者様をはじめ外来患者様に対して口腔内の機能を充実させ維持するためのお手伝いをさせていただきます。

新しくなった診療室は、杖歩行や車椅子に乗っている患者様が安心して診療台に移動・移乗でき、入院

用のベッド上でも安全な治療ができるように設計されており、中央材料室で滅菌された清潔な器具を用いて、むし歯や歯周病等の一般治療をはじめ、即日の義歯修理や自費診療であるインプラント等の治療を、患者様の口腔内を十分に審査した上で行っております。

また、通院が困難な患者様には、歯科医師による治療や歯科衛生士による口腔ケアを行うための訪問診療も行っております。

身体の健康は口から！よく噛んで食べることは健康生活の基本です♪
食べるものや食べる時間、その時々々の心身の状態にも反映されてしまうほど口腔内は日々変化していますが、毎日の歯磨きでフレイブル予防や健康を保つことをお心がけいただき、気になる症状や悩みがありましたら私たちへお気軽にご相談いただけたらと思います。

歯科衛生士科主任
六川 亜友美



入退院支援センター

私たち入退院支援部は医師の大澤部長(統括院長)を筆頭に看護師3名、医療ソーシャルワーカー16名、事務職3名にて構成されています。

入院前から地域医療連携課の看護師や事務職などが関わり、患者さんのスムーズな入院に努めます。また、入院後は医療福祉相談

室の医療ソーシャルワーカーが中心となり様々な職種が関わりを持ち、入院中から退院後における患者さんやご家族の支援にあたります。退院後も患者さんが住み慣れた地域で安心して生活を続けることができること、また患者さんやご家族の想いを大切にしたいです。

入退院支援部副部長
木下 千絵



リハビリテーション施設の紹介

室内全景とリハビリテーション機器の紹介



室内全景

中央リハビリ室の総面積は約623平米。一般的な教室の面積は60平米とすると教室約10・4個分の広さがあります。この広いL字型の空間には、プラットホームやマット、ベッド等が置かれたリハビリテーションスペースをはじめ、様々なリハビリテーション機器が設置され、理学療法・作業療法が行われています。ADL室と外来リハ室は

中央リハビリ室に隣接しており、廊下を隔てて6つの言語療法室、2つの心理療法室、4つの個室があります。個室の1つは、ドライブシミュレーター室です。



ドライブシミュレーター室

ADL室

退院後の生活を見越して、退院後の生活に出来る限り近づけた環境での動作練習や、福祉用具などの使用練習などを行うエリアになります。ここではフローリングや畳といった床材の違いを感じながらの動作体験や、引き戸・開き戸などの開閉、段差の昇降練習を行うこ

外来リハ室

外来リハ室は中央リハビリ室に隣接し、おおよそ畳20畳分の広さがあります。この部屋には5つのベッドと、筋肉量や脂肪量などの体成分を評価するインボディ、体の歪みを評価するシセイカム、超音波診断機器などお体の状態を正確に評価できる機器類、人間ドックのオプションであるロコモティブシンドローム・体力測定を行う物品を揃えています。



外来リハ室

言語聴覚室

6部屋の個別療法室を設け落ち着いた環境でのリハビリを提供しています。

うち2部屋は防音室となっており、聴力検査に対応している他、大きな声を出しての練習も周囲を気にすること無く実施出来ます。言語・高次脳・発声発語・摂食嚥下・聴覚機能にかかわる各



外来リハ室

とができます。また、居室のみならず浴室、洗面台、トイレ、洗濯場、キッチンなども完備しており、それぞれを実際に使用しながら練習したり、ご家族とともに介助方法を確認、練習できる環境が整っています。



退院後の生活に出来る限り近づけた環境



キッチン

種検査・訓練機器、道具を取り揃えています



言語聴覚室



言語聴覚室

作業広場

このエリアでは主に上肢・手指(肩・指)、認知機能(目や耳などで感じ取り、認識する)などのトレーニングを中心に行っています。患者様個々の状態に合わせたリハビリテーションが提供できるよう、特殊な機器や物品も多く設置されています。また、平日の夕方にはこのエリアで『作業広場』を運営しています。作業広場では、集団での作業活動という環境を利用し、心身の維持改善や生活リズムの構築、復職に備えた練習など一人ひとりに合わせた目標・目的に沿った関わりをセラピストが行っています。



作業広場

心理室

心理専門職が心理検査やカウンセリングなどを行うための部屋です。静かでプライバシーを保てる個室となっています。



心理室



心理室



当センターにて、運転記録証明書やSDカードを複数年にわたり活用し、交通安全対策を積極的に行ったことが評価され、自動車安全運転センターより感謝状が贈呈されました。

贈呈の際には、当センターにおける交通事故件数が非常に少ないといったお話をお聞きしました。感謝状の贈呈を受け、職員全員が更なる交通安全への意識を持ち、運転業務に取り組んでまいります。

自動車安全運転センター より感謝状が贈呈されました

ユニフォームが新しくなりました。



●リハビリテーション
スタッフ

●臨床検査技師

●診療放射線技師

●薬剤師

●栄養士

●臨床工学士



一昨年、令和4年10月に看護師・介護福祉士のユニフォームが新しくなりましたが、今回、令和5年11月よりリハビリ・栄養科・検査科・薬剤部・臨床工学科・診療放射線科が厚生連統一ユニフォームへ変更となり、ソーシャルワーカー・歯科衛生士・歯科科技工士・訪問看護師のユニフォームを一新しました。

変更前のユニフォームは色の統一がない部署もありましたが、新しいユニフォームは各部署1色に統一することで、職種の見分けが付きやすくなりました。また、袖口に当センターのワッペンを付けることで病院全体での一体感が生まれました。

病院もユニフォームも新しくなりました。気持ちを新たに、今後とも地域の皆さまに安心いただける医療を提供していくように、スタッフ一同取り組んでまいります。

栄養科おすすめ★季節のレシピ

七草粥

一月七日は七日正月と呼ばれ、七草粥を食べる習慣があります。これは中国の健康を願う風習に由来しています。お正月のご馳走に疲れた胃を休めるためといわれることもありますが、本来の意味とは異なります。

春の七草とは、「せり(芹)、なずな(薺)、ごぎょう(御形)、はこべら(繁縷)、ほとけのざ(仏の座)、すずな(菘)、すずしろ(蘿蔔)ですが、いずれも前の年に種がこぼれて芽吹き、緑の葉をつけたまま年を越す越年草です。七草粥には、厳しい冬を越え、雪の下でたくましく育つ菜の生命力をいただき、無病息災を願うという意味があります。

近年若年層ではあまり馴染みのない風習となっており、七草粥を食べたことがない方もいるのではないのでしょうか。普段口にしない食材のようにきこえますが、すずなはカブですずしろは大根のことをさし、手軽に手に入りやすい食材です。七草粥を食べたことのない方は無病息災を願いつつ一度召し上がってみてはいかがでしょうか。



鹿教湯病院 栄養科
中俣 彰太



七草粥

▼材料 (2人分)

- ・ごはん 150g ・水 500ml ・塩少々 ・お湯(茹で用)
- ・七草(市販品1パックでもOK)
- ・すずな 1株 ・すずしろ 1本(約40g) ・せり
- ・なずな ・ごぎょう 各2g ・はこべら ・ほとけのざ

▼作り方

- ①鍋にお湯を沸かし、塩・七草を入れて2分程茹でる。ザルにあげ湯切りし水気を絞る。
- ②せり・なずな・ごぎょう・はこべら・ほとけのざは1cm幅に切る。すずなは半分に切って薄切りにし、すずしろは薄い輪切りにする。
- ③鍋にごはん・水500mlをいれて中火で煮立たせる。
- ④煮立ったら弱火にして、かき混ぜながら5分程煮る。②をいれて一煮立ちされたら塩を入れ、混ぜ合わせて火から下ろす。
- ⑤器に盛り付けて完成。

▼栄養成分 (1人当たり)

エネルギー 147kcal たんぱく質 2.8g
脂質 0.3g 炭水化物 32.0g
食塩相当量 0.3g



※画像はイメージです

豆知識

春の七草を全たいえる人はあまり多くないかもしれません。短歌のリズム(5・7・5・7・7)で口ずさむと覚えやすいので試してみてください。

- 5 せり・なずな～
- 7 ごぎょう・はこべら
- 5 ほとけのざ～
- 7 すずな すずしろ
- 7 はるのななくさ～



お知らせ

人間ドックのご案内

予約申込はこちら

TEL 0268-44-2155 (直通)

受付時間/月～金曜日 9:00～17:00

予約状況はこちらから

鹿教湯病院ドック 🔍 検索

お知らせ

入院のご相談・ご希望など

お問い合わせは【地域医療連携課】

TEL 0268-44-2111 (代表)

FAX 0268-41-7080 (直通)

受付時間/月～金曜日 8:30～17:00

外来担当医表

2024年1月

※担当医は都合により変更になる場合があります。

鹿教湯病院		☎0268-44-2111 (代)					
		受付時間	月	火	水	木	金
内科	内科	午前 8:30～11:00	田中	伊沢・黒岩 (要予約)	信大	宮城	伊澤(第3のみ)
	脳神経内科		鈴木	宮坂	片井	片井・信大	吉田・木下(朋)
	呼吸器内科		小林(俊)	小林(俊) (要予約)	信大	平井	小林(俊)
循環器内科		午前 8:30～11:00	信大	若海			
心臓血管外科		午前 8:30～11:00					井手
脳神経外科		午前 8:30～11:00		かわらぶき 瓦葺	佐藤		
整形外科		午前 8:30～11:00	樽田	木下(久)	信大	木下(久)	木下(久)
リハビリテーション科		午前 8:30～11:00			森泉・丸田	泉(月1回午後)	
歯科	午前 8:30～11:30	小林(健)	小林(健)	小林(健)	小林(健)	小林(健)	
	午後 1:00～ 4:30	甘利・二本	甘利・二本	甘利・二本	甘利・二本	甘利・二本	
リウマチ・膠原病内科		午前 8:30～11:00					信大
外科(消化器)		午前 8:30～11:00		細谷			
皮膚科		午前 8:30～11:00		信大			
泌尿器科		午後 1:30～ 3:30				石塚・信大	
眼科		午後 1:00～ 3:00			信大 (第2・第4のみ)		信大
耳鼻咽喉科		午後 1:00～ 3:00		信大			
小児科		午前 8:30～11:00			(要予約)	(要予約)	
乳腺外科(完全予約制)		午前 8:30～11:00		石毛(第4)			
専門外来		午前 8:30～11:00		ロコモ・骨粗鬆症 (午前予約制)	義肢・装具 (午前予約制)		

豊殿診療所

☎0268-29-1220(代)

		受付時間	月	火	水	木	金
内科・消化器内科		午前 8:30～11:30	戸兵	戸兵	渡邊 鳥飼(第3のみ)	戸兵	戸兵 大久保
循環器内科・脳神経内科		午後 1:00～ 4:30					

休診日

2024年

1月

2月

3月

鹿教湯病院

土曜・日曜

土曜・日曜

土曜・日曜

豊殿診療所

土曜・日曜

土曜・日曜

土曜・日曜

本誌をご愛読いただき、
ありがとうございます。
本誌に対するご意見・ご感想など
ございましたら、お気軽に右記まで
ご連絡をお願いします。

■鹿教湯病院 〒386-0396長野県上田市鹿教湯温泉1308 ☎0268-44-2111 FAX.0268-44-2117

■豊殿診療所 〒386-0004長野県上田市殿城250-4 ☎0268-29-1220 FAX.0268-29-1229

■老健いずみの 〒386-8688長野県上田市小泉72-1 ☎0268-26-6600 FAX.0268-26-6615

発行責任者 ■ 統括院長 大澤 道彦

<https://km-rehacenter.jp/>